

総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	健康福祉課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本 施 策 名	
1 - 1 - 2	誰もが安心できる医療体制を整える	
重点施策ID	重 点 施 策 名	
- - -		

2. 事業名等		
事業名	小児救急医療対策事業	事業区分
細事業名		②
事業主体	県・市	①
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務	①
実施期間	平成 19 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規
各種の計画への反映（＝根拠計画）		豊後大野市小児救急医療対策事業費補助金交付要綱
		事業ID
		16007

3. 事業の内容等				
事業の背景 小子化・核家族化・夫婦共働きといった社会情勢や家庭環境の変化により、子どもの急病時の対応について、相談・支援体制を実施可能な体制が求められている。	補助事業	名 称		大分県小児救急医療対策事業
		補助率		国 県 その他 1/ 1/2 1/
	起 債 の 種 類	①		
		②		
③				
事業の目的及び対象		事業概要		
【目的】 休日又は夜間に小児初期救急患者を受け入れる体制を整備し、休日等における小児救急患者の医療を確保することを目的とする。		輪番制方式により診療を行う市内の医療機関（県立病院を除く）に対して補助金を交付。 3,270円（1時間当たりの単価）×1日の診療時間数×診療日数		
【対象】 輪番制方式により診療を行う市内の医療機関		前年度の評価		評価結果に基づき見直した内容
		E 維持		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金						
	県支出金		250	250	250	250	250
	地方債						
	その他						
	一般財源		250	303	250	250	250
決 算	計		500	553	500	500	500
	国庫支出金						
	県支出金		235				
	地方債						
	その他						
	一般財源		235				
	計		470				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課 題
【実績】	【実績】	【実績】 受診者数 1,483人	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	補助金の交付額						
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	受診者数						単 位 人
年 度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別			受診者数	受診者数	受診者数	受診者数	
目標値			1,483	1,483	1,483	1,483	
実績値			1,483				
達成率			100.0%				
備 考							

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	健康福祉課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	休日又は夜間に小児初期救急患者を受け入れる体制を整備し、休日又は夜間における小児救急患者の医療を確保するために、小児救急医療対策事業の実施が必要のため。					
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	民間を含めた医療機関が輪番制を実施しており、現状の医療を確保するための支援が必要であるため。					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	輪番制により休日の医療が確保できているため、輪番制という手段は妥当である。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	体制整備をするための補助をすることにより、休日又は夜間における小児救急患者の医療を確保することができるため。					
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	輪番医療機関の診療時間に変更がないため、事業の予算は現状維持とする。					
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	事務量の変更がないため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	休日又は夜間に小児初期救急患者を受け入れる体制を整備し、休日又は夜間における小児救急患者の医療を確保するために、現状の補助を維持することが必要のため。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
輪番医療機関 県立三重病院・公立おがた病院・みやわき小児科・竹田市医師会病院						
部 長		課 長		班 長		担当者
						内線 2131 E-mail @bungo-ohno.jp